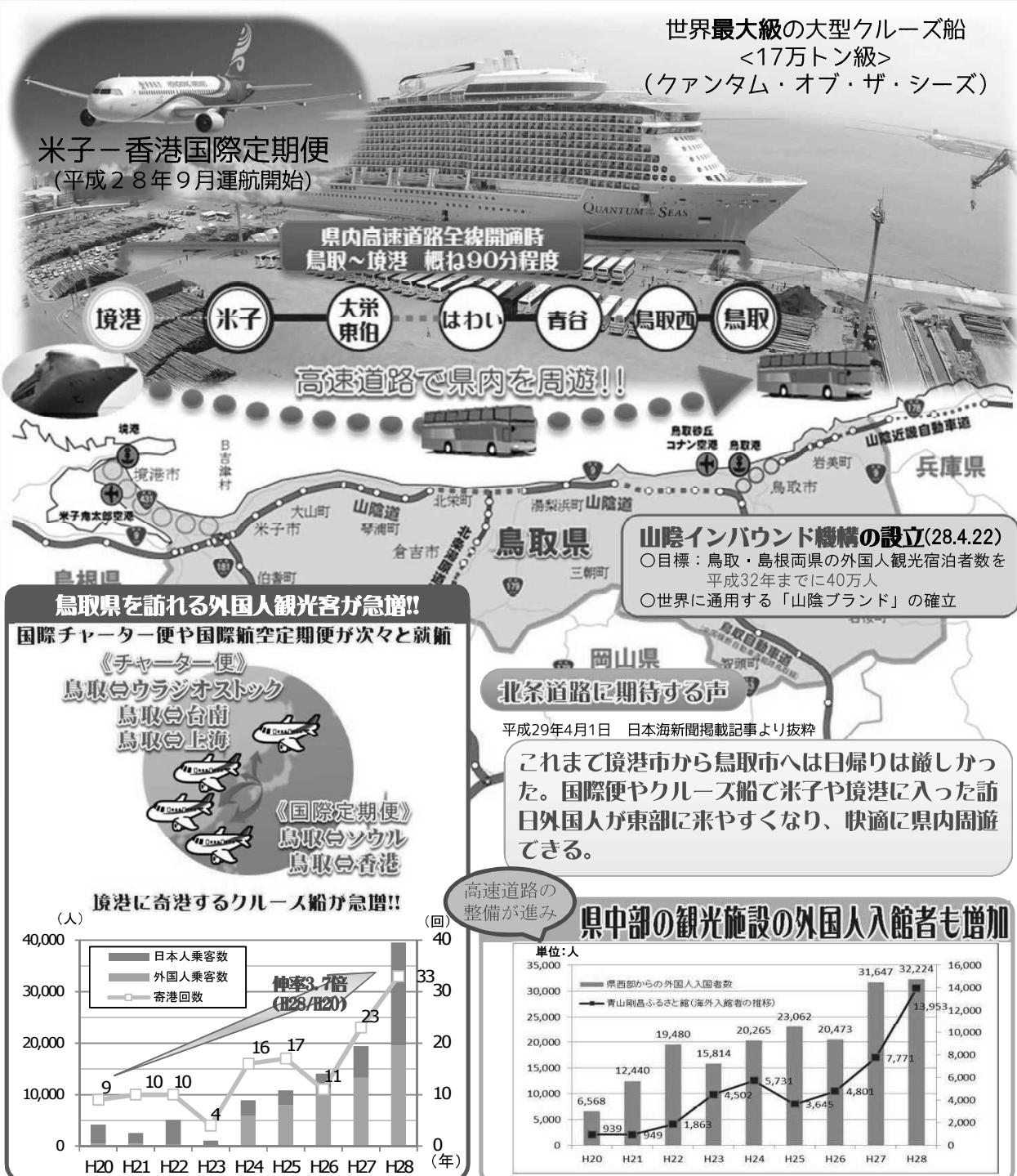


高速道路ネットワークによる 観光交流人口のさらなる拡大

効果



境港に寄港するクルーズ船が近年大幅に増加しており、山陰インバウンド機構も平成29年1月に外国人観光宿泊者数の目標値（平成32年）を25万人から40万人に見直すなど、訪日外国人旅行客が急増している。

山陰道等の高速道路ネットワークの整備により、このインバウンド観光による効果は県西部のみならず県中部にまで影響を見せており、さらなる移動時間の短縮は、広域観光周遊ルートの「縁の道～山陰～」と、観光周遊ルートの結節点を活かした「美の伝説」へのインバウンド観光の波及など、観光産業を通じた地域経済の発展が期待される。

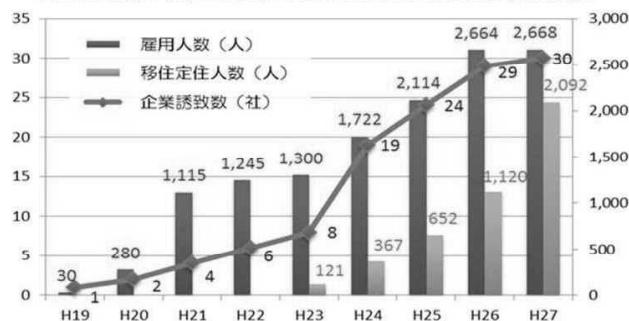
効果

高速道路ネットワークは『生産性を向上』させ 企業進出などにより地方が活性化



山陰道や鳥取道などの整備により企業進出が加速!!

※山陰道沿線(中部全域含む)の企業進出状況と移住定住者数(累積)



出典) 鳥取県商工労働部、地域振興部
対象) 米子市、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町)



鳥取西道路に期待する声

鳥取西道路の開通は商談時のセールスポイントになっている。
商圏拡大に繋がるので是非早期に全線開通してほしい。

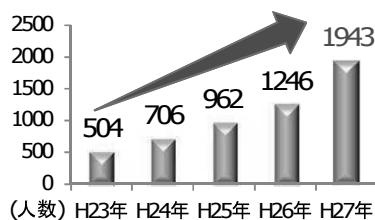


北条道路に期待する声



県内が1時間どこどこで繋がるのは運送業界の願い。渋滞も改善され大雪の際も新旧の国道9号が使える。

雇用創出や移動の利便性の向上により移住者が増加!!



H23～H27年度までの5年間の鳥取県へ移住者は5,361人。
鳥取道の全通や、山陰道が繋がってきたこと等による県内企業の求人の増加により、移住者が増加しました。
H27年度移住状況

移動元：中国地方(623人) 近畿地方(622人) 関東地方(350人)
移動先：米子市(480人) 鳥取市(334人) 倉吉市(185人)

高速道路ネットワークの整備により利便性が向上し、企業進出や雇用拡大が移住定住者の増加に繋がっている。

ミッシングリンクの解消や4車線化など、高速道路ネットワークの整備により、企業進出をさらに促進し、地方創生の取組が加速すると期待される。

高速道路ネットワークは『医療圏域を拡大』させ 救命率の向上に寄与!!

第3次救急医療機関
鳥取県立中央病院



北条道路の整備による第三次救急医療施設の60分搬送圏域の拡大

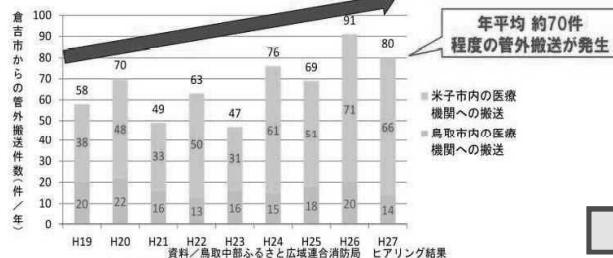
出典:平成28年度社会资本整備審議会道路分科会第4回中国地方小委員会資料



資料/H22国調メッシュデータ(総務省)
※規制速度を用いて算出
※人口はH22国調メッシュデータを使用
※倉吉市からの搬送件数はH19~27平均

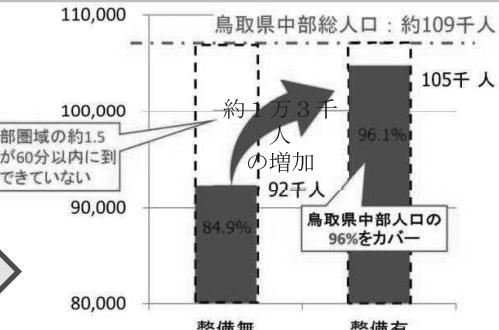
中部地域には第3次医療施設が存在しない

【倉吉市から鳥取市内・米子市内の医療機関への管外搬送件数の推移】



出典:平成28年度社会资本整備審議会道路分科会第4回中国地方小委員会資料

北条道路の整備により医療圏が拡大!!



中部地域には第3次救急医療施設が存在せず、東部地域の鳥取県立中央病院や西部地域の鳥取大学医学部付属病院へ搬送しているが、中部圏域人口の約1.5割が60分以内に搬送できない状況。北条道路の整備により、東・西部地域の第3次救急医療施設からの60分圏域が拡大し、中部地域へのカバー率が増加。

冬期における円滑な交通確保対策について

《提案・要望の内容》

本年1月及び2月の豪雪において、延べ210台もの大規模な滞留が発生するとともに、延べ160時間を超える長時間の通行止めが発生するなど、高速道路ネットワークの寸断により、地域経済を大きく損なうこととなった。

県民の安心で安全な生活を確保するため、県管理道路における消雪施設の設置及びライブカメラの増設などの対策も実施することとしており、各道路管理者や関係機関が一体となった除雪体制の強化などとともに、直轄管理の幹線道路における管理体制の強化及び消雪施設の設置などハード面からも対策の検討をお願いする。

さらに、高速道路における長時間の通行止めや大規模滞留の発生を回避する抜本的な対策として、暫定2車線区間の付加車線の整備を促進するとともに、早期に4車線化を図ること。

【機能強化のため早期整備が必要なハード対策】

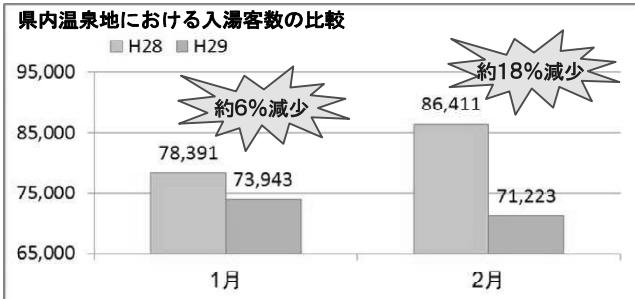
- 米子自動車道、鳥取自動車道及び山陰道における暫定2車線区間の4車線化及び付加車線の早期整備による高速道路の機能強化
- 幹線道路及び幹線道路の迂回路等における消雪施設等の整備による機能強化

【機能強化のため早期対応が必要なソフト対策】

- 関係機関が連携した通行規制や迂回路設定などの対応の検討
- 積雪状況に応じた柔軟な除雪体制の構築のため、応援計画を踏まえた除雪計画の策定
- 除雪、通行規制、迂回路などの情報の一元化
- 道路利用者に対する広域的かつ、きめ細かい道路情報提供方法の改善
- 除雪機械購入を含めた除雪費用の重点的な配分

《参考》

■平成 29 年 1 月、2 月豪雪による影響



- 2月における皆生温泉の入湯客数は対前年比 25%の減少 (H28 : 32,130 人 ⇒ H29 : 24,236 人)
- 温泉宿泊者のキャンセルは約 4,800 人
- 宿泊キャンセルの損失は約 1 億円以上 (観光消費額 23,393 円/人)

■主な地域の最大積雪量

市町村名	鳥取市	倉吉市	米子市	智頭町	大山町
1月豪雪 (1月 23~24 日)	55 cm	46 cm	43 cm	105 cm	225 cm
2月豪雪 (2月 9~12 日)	91 cm	61 cm	40 cm	85 cm	264 cm

- 智頭町における日積雪量 70 cm (1月 23 日) は観測史上最大 (1981年12月以降)
- 鳥取市の2月における日降雪量 65 cm は観測史上最大 (1953年1月以降)
- 鳥取市における 91 cm の積雪は 33 年ぶりであり、観測史上 5 番目 (1943年1月以降)
- 鳥取市の2月 10 日～12 日における平均積雪深は 9 cm であり、例年の 10 倍となる積雪 (1981 年～2010 年の 30 年平均値)

■冬期の円滑な交通確保に向けた今後の取組

- 鳥取自動車道の迂回路となる国道 373 号の機能強化 (堆雪帯の検討やカメラの設置)
- 国、県の連携による豪雪対応における除雪、通行規制、迂回路設定などの対応検討
- バス路線などを踏まえた優先除雪区間の設定
- 除雪体制、出動基準、配置計画の見直しに加え、応援計画を踏まえた除雪計画の策定
- 道路状況把握のための、ライブカメラの増設
- 地元関係者などとの連携による情報収集体制の強化
- オペレーター育成のための、資格取得費用の支援
- G P S を活用した除雪機械の位置情報の把握
- 今回の豪雪における課題や改善点について除雪業者との意見交換
- 除雪や通行規制に関する広報の改善
- 県警や他の道路管理者との連携によるタイヤチェック体制の検討 (場所・体制)

■県内高速道路等の付加車線状況

	県内計画延長	県内供用延長	うち付加車線延長
山陰道	88.0 km	57.0 km	6.8 km
鳥取自動車道	38.4 km	38.4 km	1.1 km
米子自動車道	48.2 km	27.2 km	8.2 km
山陰近畿自動車道	26.0 km	10.1 km	0.5 km
合計	200.6 km	132.7 km	16.6 km

※ 整備率 : 供用延長 / 計画延長 = 66.2%

※ 4 車線化の割合 : 付加車線延長 / 供用延長 = 12.5%

※ 「県内高速道路等」には山陰近畿自動車道を含み、各延長はおよその数値である。

高速道路の4車線化と付加車線整備の促進

冬期の経済活動等を支える幹線道路網の確保!!

知能

「暫定2車線区間」で
降雪による長時間の通行止めや滞留が発生!!

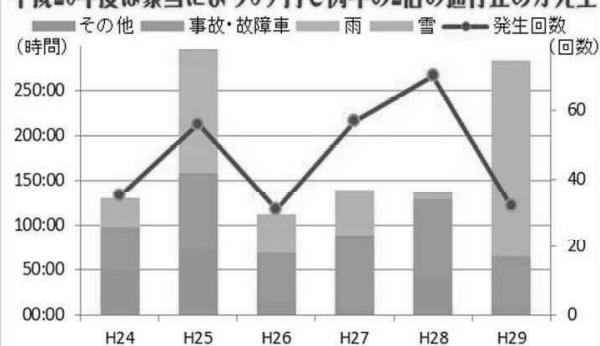
1月豪雪 米子自動車道の様子

1月・2月の豪雪で
延べ210台が滞留

豪雪により延べ161時間の通行止め!!

山陰道・鳥取自動車道・米子自動車道の通行止め状況

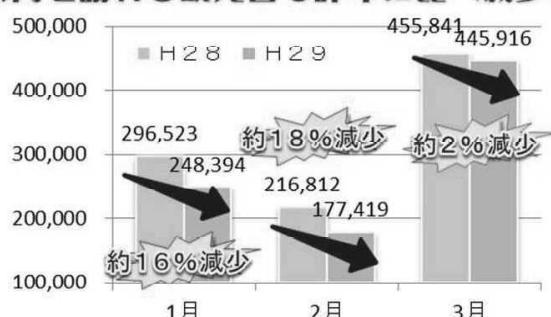
平成29年度は豪雪により3ヶ月で例年の2倍の通行止めが発生



出典：日本道路情報センター調べ (H29は1月～3月のデータ)

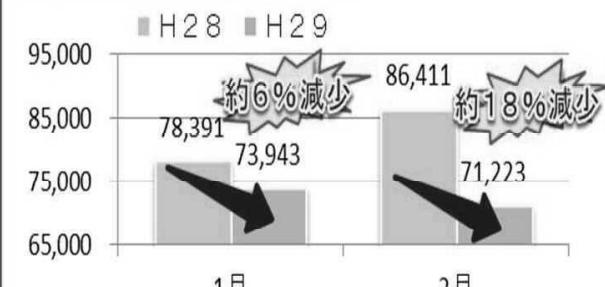
平成29年1～3月の主要観光施設入込客数

豪雪による通行止めの影響により
県内を訪れる観光客も昨年に比べ減少!!



平成29年1～2月の温泉地入浴客数

豪雪による高速道路の通航止めにより
温泉地宿泊者も減少!!



周辺地域からのアクセス道路が止まったことで
宿泊予定者4,800人のキャンセルが発生!!
【地元の声】

- 米子道が止まつたのでお客様が来られなかった。
- 山陰道が止まつたので東部から皆生に来られなかった。
- 全国的に報道され、今後の影響が心配。

キャンセルによる損失
約1億円!!

※宿泊キャンセル数×宿泊1人当たり観光消費額
〔観光消費額=23,393円 (H27鳥取県観光客入込動態調査)〕